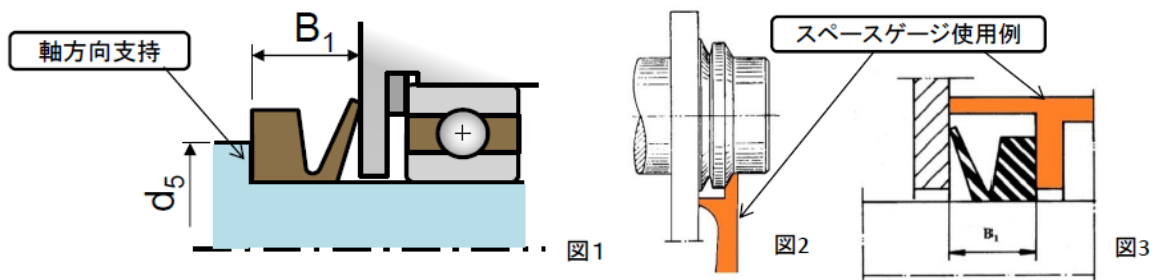


フォーシェダ V-リング組付け要領

【一般的な組付け手順】

1. フォーシェダ V-リング、シール相手面、シャフトをきれいに洗浄してください。
2. シャフトはできる限りドライ状態にし、グリースやオイルを取除いてください。
3. フォーシェダ V-リングのリップにグリースまたはシリコンオイルを薄いフィルム状に塗布してください。その他の部分には塗布しないよう注意してください。
4. 作動中の摩擦を最小限に抑えたい場合、シールの相手面を摩擦低減剤のモリコート 7409 などでコーティングしてください。
5. フォーシェダ V-リングは円周方向に均一に伸ばしシャフトに取付けます。
6. 相手面との B1 寸法が正しく設定するために、軸方向支持やスペースゲージを製作し使用することを推奨いたします。(図1～図3)



【大径シールの組付け】

フォーシェダ V-リングをシャフトに取付けた時のリップ外径は減少します。シャフトに組付けたフォーシェダ V-リングが円周方向に均一に伸ばされていない場合、円周不均一の状態となります。これは、シール相手面に対し部分接触をもたらし、偏摩耗やシール破損の原因となる場合があります。

内径 $\Phi 300\text{mm}$ 以上のフォーシェダ V-リングは、先端を丸くした薄いドライバーか紐などをフォーシェダ V-リング本体とシャフトの間に挿入し、2周ほどまわすとフォーシェダ V-リングを均一に引伸ばせます。この時、シールやシャフトを傷付けないよう十分注意してください。(図4)

大径のフォーシェダ V-リングを均一に引伸ばし取付ける方法としては、フォーシェダ V-リング本体とシャフトに等間隔で合いマークを施します。次にフォーシェダ V-リングをシャフトに組付け互いのマークを合わせ位置決めします。(図5)

